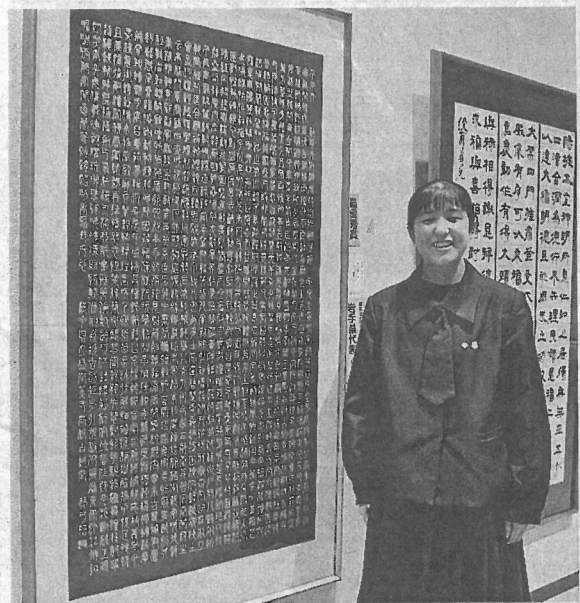


最優秀賞に柴垣さん（盛岡）

県高総文祭 盛岡できょうから展示

第47回県高校総合文化祭 書道部門兼第59回県高校書道展（県教委、県高文連主催）の入賞作が決まり、最優秀賞に盛岡二二年の柴垣琴乃さんが選ばれた。6月10日、盛岡市内丸のトーサイクラシックホール岩手で展示される。

柴垣さんは、清時代の書家鄧石如の「篆書千字文」を臨書した。黒い紙に金泥でしたためた文字数は千字を超える。整然と敷き詰められた文字は美しく、圧巻だ。柴垣さんは1日2行を自



最優秀賞に輝いた柴垣琴乃さんと受賞作

標に約1カ月かけて制作。間違えは一からやり直して

県内41校から596点の応募があり、優秀賞28点の

「大変だったけれど、書き上げることができた達成感とうれしさがある」と笑みを広げた。

奨励賞94点などを選んだ。来年度の全国高総文祭（香川県）の代表には柴垣さんのほか、優秀賞のうち盛岡一の大川真奈さん、盛岡四の小川口朋花さん、盛岡北の熊谷遥さん、盛岡商の船

料。木一花さん、盛岡市立の後藤紅葉さん（いずれも2年）が選ばれた。入選以上（一部を除く）の301点を展示する。午前10時～午後5時。入場無

（岩手日報）

この記事は岩手日報社の許諾を得て転載しています。